



「公立高校の合格発表！」

昨日は、公立高校の合格発表でした。1年生の時から進路学習を進めてきました。各高校の特徴を調べたり、自分の特性を考えたりして、それぞれの生徒が真剣に進路を考えてきました。3年間を通して、「自分の進む道を最後に決めるのは自分自身である」ということを常に押さえて進路学習を進めてきました。どの生徒も、卒業後の自分の進路を自分の意思で決定したと思います。自分の成績にあった高等学校を志望した生徒もいたでしょうし、自分にとって少し難しい高等学校にチャレンジした生徒もいたと思います。どちらの選択も意味のある選択だったと思います。

自分の志望した高等学校に合格した生徒もいれば、残念ながら不合格だった生徒もいると思います。どちらの結果にしても、自分の選択に対して、真正面から向き合い一生懸命に努力したと思います。物事には結果はつきますが、最も大切なのは、どのように取り組めたかということです。自分が一生懸命に努力したことは、結果が合格でも不合格でも消えることはありません。そして努力した自分を大切にしてください。

「受け止める」

人が生きていく中では、さまざまな結果に直面します。人はその結果を受け止めていかなければ、なりません。そして受け止めた後に人はまた、新たな一步を踏みだして前に進んでいきます。生きていく中では、自分の考えた通りの結果よりもその逆の結果のほうがはるかに多いものです。ですから、生きていくということは「受け止める」ということの連続でもあるといえます。15の春で、合格した人は、合格したことに満足して足を止めることなく、力強く次の目標に向かって一步を踏み出してください。そして不合格だった生徒は、ネガティブな気持ちになって足を止めることなく、力強く新たな目標に向かって一步を踏み出してください。3月12日にみんな中学校を卒業します。新たな環境を受け止めて、確かな一步を踏み出してください。頑張れみんな！自分の選んだ道を受け止めてまっすぐに進もう！



